

訂正

本誌第127巻3号掲載の原著「非侵襲的ヘモグロビン測定による2歳未満児の貧血スクリーニング」(P435～440)において、著者からの申し出により次の通り訂正がありました。

該当ページ	誤	正
P435 要旨9行目	貧血 (vHb<10.5 <u>mg</u> /dL) を検出する SpHb の Receiver operating characteristic 曲線下面積は 0.936 (95% 信頼区間 0.87～1) であり, SpHb のカットオフ値を 11.6 <u>mg</u> /dL とすると, 感度 83.3%, 特異度 87.5% となった.	貧血 (vHb<10.5 <u>g</u> /dL) を検出する SpHb の Receiver operating characteristic 曲線下面積は 0.936 (95% 信頼区間 0.87～1) であり, SpHb のカットオフ値を 11.6 <u>g</u> /dL とすると, 感度 83.3%, 特異度 87.5% となった.
P436 結果9行目	貧血を vHb 10.5 <u>mg</u> /dL 未満と定義すると ⁸⁾ , 52 例中 12 例が貧血だった.	貧血を vHb 10.5 <u>g</u> /dL 未満と定義すると ⁸⁾ , 52 例中 12 例が貧血だった.
P436 結果24行目	貧血 (vHb 10.5 <u>mg</u> /dL 未満) を検出する ROC 曲線下面積は 0.936 (95% 信頼区間 0.87～1) であり, SpHb のカットオフ値を 11.6 <u>mg</u> /dL とすると, 感度 83.3%, 特異度 87.5% となった (図3).	貧血 (vHb 10.5 <u>g</u> /dL 未満) を検出する ROC 曲線下面積は 0.936 (95% 信頼区間 0.87～1) であり, SpHb のカットオフ値を 11.6 <u>g</u> /dL とすると, 感度 83.3%, 特異度 87.5% となった (図3).
P437 図3の説明4行目	vHb 10.5 <u>mg</u> /dL 未満を貧血と定義した. SpHb のカットオフ値 11.6 <u>mg</u> /dL で, 感度 83.3%, 特異度 87.5%.	vHb 10.5 <u>g</u> /dL 未満を貧血と定義した. SpHb のカットオフ値 11.6 <u>g</u> /dL で, 感度 83.3%, 特異度 87.5%.
P440 英文抄録13行目	Receiver operating characteristic curve analysis for SpHb-based detection of anemia (vHb cutoff <10.5 <u>mg</u> /dL) showed that SpHb (cutoff <11.6 <u>mg</u> /dL) could accurately predict anemia (sensitivity 83.3%, specificity 87.5%, and area under the curve 0.936 [95% confidence interval 0.87—1]).	Receiver operating characteristic curve analysis for SpHb-based detection of anemia (vHb cutoff <10.5 <u>g</u> /dL) showed that SpHb (cutoff <11.6 <u>g</u> /dL) could accurately predict anemia (sensitivity 83.3%, specificity 87.5%, and area under the curve 0.936 [95% confidence interval 0.87—1]).